



# 3Gテレマティクス専門委員会 H19年度活動報告

平成20年5月16日

専門委員長 中村 康久

# 3Gテレマティクス専門委員会の概要と体制

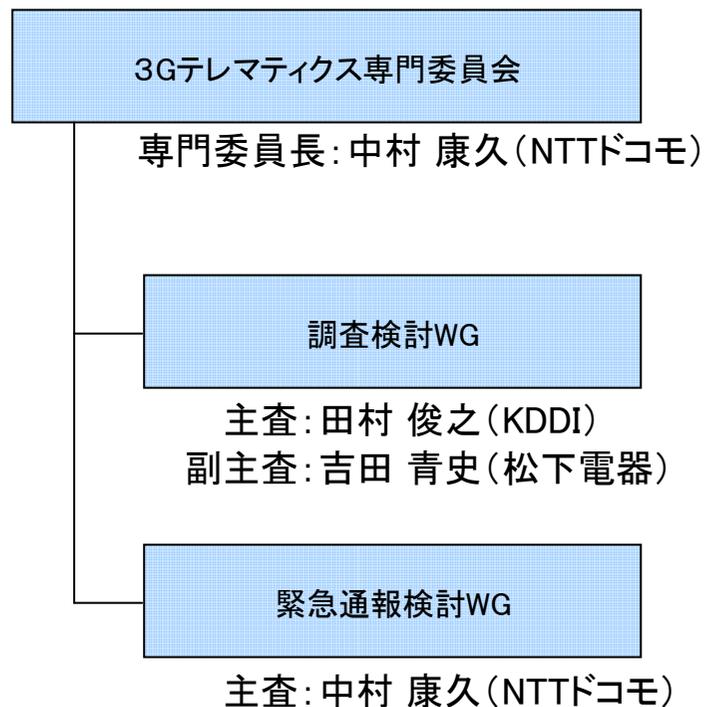
## ■ 3Gテレマティクス専門委員会の概要

当専門委員会は、3Gテレマティクスの進展を踏まえ、第3世代移動通信技術のみならず、第4世代等を含めた最新移動通信技術の動向を把握しつつ、各種ITSサービス実現のための技術調査、標準化等の実施を活動の目的とする。

## ■ 検討体制

当専門委員会には、現在34の機関・企業・団体等から57名の専門委員が参加している。今年度の具体的な検討作業は、「調査検討WG」、「緊急通報WG」の2つのワークグループを中心に行ってきた。構成を次頁で示す。

# 3Gテレマティクス専門委員会の構成



アンテナ技研、伊藤忠テクノサイエンス、NTTソフトウェア、NTTドコモ、沖電気工業、カルソニックカンセイ、KDDI、ケンウッド、コミュニチュア、住友電気工業、ゼンリン、総務省、デンソー、電波産業会、ドーシス、トヨタ自動車、中日本高速道路、日本電気、日本無線、野村総合研究所、パーク24、パイオニア、日立製作所、富士通テン、フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン、本田技術研究所、マスプロ電工、松下電器産業、三菱重工業、三菱商事、三菱電機、矢崎総業、ヨコオ、横浜国立大学

# 発表内容

- 1. 専門委員会セミナー活動について**
- 2. 技術動向調査活動について**
- 3. 緊急通報検討WG活動について**
- 4. まとめと今後の課題**

# 1. 専門委員会セミナー活動について

## (1) 第1回専門委員会セミナー

- ・日時：2007年8月31日(金)16:00－17:30
- ・場所：(社)電波産業会 第2・3会議室
- ・参加者：3Gテレマティクス専門委員会メンバーを中心に41名
- ① セミナー：「欧州におけるセルラーを利用した道路課金システムの最新動向について」  
講師：ISO/TC204 WG5専門家 工藤 安人 氏
- ② セミナー「予防安全のための運転支援システムの紹介」  
講師：株式会社本田技術研究所 四輪開発センター  
第2技術開発室第5ブロック主任研究員 浅沼 信吉 氏

## (2) 第2回専門委員会セミナー

- ・日時：2007年12月17日(月)16:00－17:30
- ・場所：(社)電波産業会 第2・3会議室
- ・参加者：3Gテレマティクス専門委員会メンバーを中心に30名
- ① セミナー：「BWA関連技術と標準化動向について」  
講師：KDDI株式会社 コア技術統括本部ネットワーク技術本部 理事 渡辺 文夫 氏
- ② セミナー「ケータイ電話による決済の最新動向について」  
講師：株式会社NTTドコモ P&S本部 DCMX部 担当部長 森山 浩幹 氏

## 2. 技術動向調査活動について

当専門委員会は、調査検討WGを中心に、3Gテレマティクスのサービス・システムに関する調査・検討を実施し、その概要について平成19年度調査報告書としてとりまとめを行った。

### 【報告書の概要】 （トータル402頁）

1. 3Gテレマティクス専門委員会について
2. サービス・アプリケーションの最新動向
3. 次世代移動通信サービスへの各通信事業者の取り組み動向
4. その他通信サービスの動向
5. ITS／テレマティクス用車載通信モジュールの動向
6. 位置情報／セキュリティの最新動向調査
7. 安心・安全への取り組み現状と3Gテレマティクスへの展開
8. 環境への取り組み現状と3Gテレマティクスへの展開
9. 第3世代移動通信システムを活用したコンテンツ・サービス事業の現状と今後
10. 安全運転支援への取り組み
11. まとめと今後の課題

# TOPICSのご紹介（1）

## －カーメーカ各社のテレマティクスサービスの一層の進化－

- **新テレマティクスサービス「G-BOOK mX」の投入（トヨタ）**
  - －地図更新サービス「マップオンデマンド」
  - －プローブコミュニケーション交通情報
  - －ヘルプネットサービスの標準付帯、その他
  
- **カーウィングスサービスの拡張、サービス機能向上（日産）**
  - －「あなたもエコドライブ」
  - －ITS実証実験「寒冷地のスリップ事故低減」
  - －GPSケータイを用いた歩行者の交通事故低減に向けた取り組み
  
- **インターナビ・プレミアムクラブサービスの高度化（ホンダ）**
  - －会員数50万（2007年3月末）
  - －フローティングカーデータ（プローブ）によるインターナビVICS  
情報提供（累計2億キロ）
  - －防災情報・地震情報提供サービスの開始

## TOPICSのご紹介（2） —次世代移動通信サービスの展開—

### ■ワイヤレスサービスの一層の高度化

- HSDPA（高速下りパケットアクセス）の普及、拡大
- ウルトラ3G構想
- 2.5GHz帯モバイルWiMAX（事業認可）

### ■第4世代サービスの検討の進展

- 下り最大約5Gbpsの屋外伝送実験成功

### ■ITS用周波数帯域の技術的条件

- 700MHz帯のうち、10MHzを割り当て
- 車車間通信システム用

# TOPICSのご紹介（3）

## －その他の注目すべき技術トレンド－

### ■無線LANサービスと公衆移動通信サービスとの融合

- －FMC（固定／移動サービスの融合化）
- －FON

### ■Bluetoothケータイ

- －ケータイ端末の増加
- －ワンセグ放送／音楽／ハンズフリーサービス

### ■テレマティクス用車載通信モジュールの動向

- －ユビキタスモジュール（ドコモ／KDDI）
- －海外メーカーの動向（シーメンス、モトローラ他）

### ■GPSケータイ

- －一層の普及の拡大と応用

# TOPICSのご紹介（４）

—安心・安全・環境に向けた取り組み—

## ■国内カーメーカーの積極的な取り組み

- ヘルプネットサービス（トヨタ）
- インターナビサービス（ホンダ）
- オペレーターサービス（日産）

## ■海外カーメーカーの取り組み

- PRO-SAFEコンセプト（ベンツ）
- BMW、Volkswagen、Audi 等

## ■環境への取り組み

- マルチモーダルシステム（北米）

# TOPICSのご紹介（5）

## —安心運転支援への取り組み—

- 安全運転支援システム（DSSS）
- アイセイフティ交通安全サービス
- RF-IDを利用した安全支援システム
- ASVを利用した安全支援システム

## 3. 緊急通報検討WG活動について

欧州におけるeCall関連の標準化活動が停滞していることから、当WGとしてはそれらの諸動向に関する情報収集を行った。  
なお、これまでの当WG活動としては具体的には以下の進展を見た。

### 1) 3GPP関連の動向について

- ・3GPP2での検討はISOに直接関わる検討はされていないが「All-IP Network Emergency Call」を仕様策定する方向にある。
- ・3GPPはISOと状況が似ているが、3GPPではエリクソンがIn-band Modem方式に統一していくことに懸念を示している。米国の動向はまだなく、一部の会社以外は状況検討中である。

### 2) ISO/TC204/WG16/SWG16.5の動向について

- ・欧州の動向は自動車会社・通信会社ともに現状維持の状況で、費用についても検討中の状況である。ドイツでは時期尚早との見方があり、現在GM-onstarで実装されている米国は、ISOで標準化されると従来実装されているシステムは良いが、その方式を変更して次世代の新しいことをやろうとするとISOが問題になると懸念している。

### 3) 今後の緊急通報の検討について

#### ①ISO/TC204/WG16/SWG16.5関連

- ・今後eCall (CD24977) に顕著な動きがあれば、適時本会議を開くことにした。

#### ②3GPP関連

- ・今後の大きなマイルストーンはSA1にて要求条件を安定化させることであるが方式検討 (In-band Modemになるかならないか) がどれくらいSA4で進むかというところがポイントになり状況を観察をする。

## 4. まとめと今後の課題

■当専門委員会では、3Gテレマティクスの進展を踏まえ、第3世代移動通信技術のみならず、第4世代等を含めた最新移動通信技術の動向を把握しつつ、各種ITSサービス実現のための技術調査を実施し、平成19年度活動報告書として取りまとめを行った。

■サービス・アプリケーションの分野においては、カーメーカーが提供するテレマティクスサービスがより一層進化し、ネットワーク分野では、3.5Gサービスの商用サービスが本格化した。4Gシステムの技術的検討も加速している。また、多数の事業者による公衆無線LANサービスもより充実されている。今後、更に高速で利便性の高いモバイル通信を実現する環境が充実することが期待される。

■一方、安心・安全・エコ・環境問題に対する社会的ニーズは一層増加しており、ITS・テレマティクス技術が果たす役割はより重要度を増している。

■最後に上記モバイル／ワイヤレス通信関連の発展のスピードは極めて迅速であることから、最新の技術・事業動向を網羅した本報告書が会員各位のお役に立てることを強く期待する。